

## (2) 野菜

### いちご

- ・平成21年産本ば(並 生育期間:平成20年9月~21年5月)

花芽分化は、8月後半の低温や日照不足の影響により、各作型とも平年よりやや早かった。育苗後半に炭疽病の発生が見られ、一部定植遅れのほ場も散見されたが、定植はほぼ適期に終了した。定植後の生育は概ね順調で、12月に入り頂花房の出荷ピークを迎え、1次腋花房の着果・肥大は前年より早い傾向であった。作柄は概ね平年並であった。

病害虫は、定植直後からうどんこ病、ハダニ類の発生が多く、1月には灰色かび病、3月以降はアブラムシ類等の発生が見られた。

- ・平成21年産親株~苗(平成21年5月~9月)

採苗仮植は概ね順調に行われたが、7月の日照不足の影響で葉の展開がやや遅く、軟弱傾向となった。うどんこ病、炭疽病の発生が散見された。

### トマト

- ・冬春トマト(並 生育期間:平成20年10月~21年6月)

生育は8月の日照不足等の影響でやや遅れ気味であった。冬期の天候不順の影響を受け、小玉果傾向で経過し、生育の遅れから例年より収穫段数が1段程度遅れ、出荷量が少なめで推移した。作柄は概ね平年並であった。

病害虫は、9月以降コナジラミ類の発生が多く、黄化葉巻病の発生が拡大傾向にあったが、11月には減少した。10月上中旬に疫病、11月以降、葉かび病、灰色かび病の発生が見られた。1月下旬の多雨と2月下旬の天候不順により、各地で灰色かび病が増加した。

- ・夏秋トマト(並 生育期間:平成20年5月~20年9月)

日照不足による生育への影響は少なく、作柄は平年並であった。うどんこ病の発生が多かった。

### なす

- ・夏秋なす(並~やや不良 生育期間:平成21年6月~11月)

5月の乾燥により生育が遅れた。6月以降の日照不足の影響でヘタ枯れや花落ちが発生し、収穫・出荷量は少なめとなった。9月からの好天で生育は回復し、作柄は全般的に並からやや不良であった。病害虫は、うどんこ病の発生がやや多かった。

### きゅうり

- ・夏秋きゅうり(並 生育期間:平成21年6月~9月)

日照不足の影響により一部に生育の遅れが見られたが、作柄は概ね平年並であった。

にら

- ・ 冬どり（並 生育期間：平成20年9月～平成21年5月）

養成株は、8月下旬の日照不足により徒長気味で分けつ少なめであったが、生育は平年並であった。一部で多湿による葉腐病や白色疫病が発生した。9月に県内で白絹病の発生が急増した。新植株の保温開始時期は、ほぼ平年並みであった。一部で白斑葉枯病が発生したが、作柄は全般に平年並であった。

ねぎ（並 生育期間：平成21年2月～11月）

9月までの天候不順の影響で生育遅れがみられたが、作柄は平年並みであった。病害虫は、べと病、さび病、黒斑病が多めで、アザミウマ類やハモグリバエ類等の発生も多かった。

たまねぎ（並 生育期間：平成20年9月～平成21年6月）

抽台は少なめ、生育はやや早めで玉の肥大も順調に経過した。一部でべと病の多発ほ場が見られた。

レタス

- ・ 秋冬どりレタス（やや良 生育期間：平成21年8月～11月）

好天が続いたことで玉の肥大が早く、生育は1～2週間進み、出荷が前倒しとなった。玉は大玉傾向で、品質も良好であった。